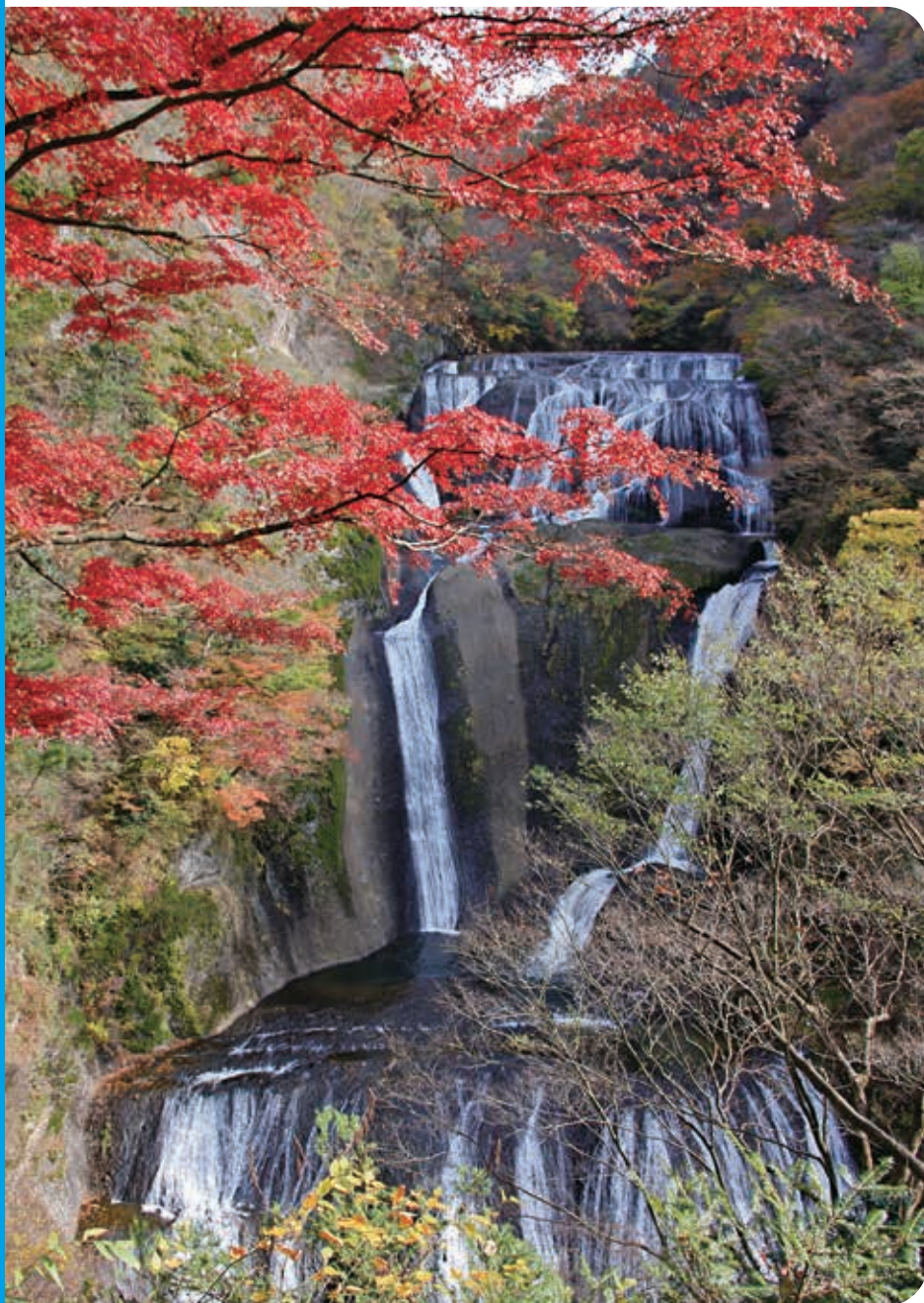


茨城ビルメンニュース

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会



「袋田の滝紅葉」 茨城県「いばらきフォトダウンロード」より

Contents

- 2 令和6年度 技術者研修会
- 3 令和6年度 労働安全衛生大会
- 7 ポリッシャー実技講習会
- 9 令和6年度 会員相互のコミュニケーション
促進事業（レクリエーション）
第3回会員対抗ボウリング大会
- 10 第45回 いばらきBMゴルフ大会
- 11 （公社）全国ビルメンテナンス協会
「2024年度表彰式（役員表彰及び事業協力者感謝の部）」
- 11 令和7年 新春賀詞交歓会開催のお知らせ
- 11 茨城労働局からのお知らせ
- 12 理事会だより
- 12 各委員会だより
- 14 私の楽しみ（はなしのリレー）
- 15 編集後記

五感を磨き、教育訓練で
創造力・危機管理能力を高めよう

令和6年度 技術者研修会 開催



9月19日(木)、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館(茨城県総合福祉会館)4階の中研修室を会場に、14社25名のご参加をいただき、令和6年度技術者研修会を開催しました。

今回は、慢性的な人手不足や賃金が上昇する中、いかにして業務の効率化を図るかをテーマに、(株)ミツモアと日本テクノ(株)から講師をお招きし、講演をしていただきました。



講師：(株)ミツモア 高井様

(株)ミツモア マーケティング責任者／マーケティング本部長 高井様から、まず、会社概要とミッション「日本のGDPを増やし、明日がもっといい日になると思える社会の実現」と二つのプロジェクト、集客や見積もりを自動化するプラットフォーム「ミツモア」と事業者のオペレーションの全てを効率化する「プロワン」を通じて、サービス産業の生産性向上に貢献していく事業を展開しているとの自己紹介がありました。

講演では、DX化が進まないのは、「難しい」、「必要ない」という情報偏在による二つの思い込みが主な理由、IT業界の進化・環境は2～3年で大きく変化するので、DX化を進めるには、意欲的・定期的に情報収集し、対応することしかないとのこと。これまでのソフトウェアの流れから、機能特化ソフトは便利だが特有業務には行き届かない、業界特化ソフトは特有業務に対応できるが機能が不足、段階的にでも業務全体へのカバーを実現することが重要。これを解決し、DX化をしていくためには、入口／導入しやすさ、目先の便利・効率化と、出口／継続の意義、収益改善の両方を抑えた「業界特化×統合型クラウドサービス」の業界特性を理解したシステ

ム構築が重要となる。

紹介する「プロワン」は現場仕事のあらゆる業務をワンストップでサポートするシステムで、現在、ビルメンテナンスや、不動産管理など多様な業種に対応できるよう、システムを拡張中であることが説明され、現場業界の業務効率化事例として、東京瓦斯(株)の取組が説明された。また、ビルメンテナンス業界での二つの導入事例が紹介され、導入にあたり、業務整理や業務フロー作成等のために10回程度の事前協議を実施していることが説明された。



講師：日本テクノ(株)
石塚様・柏様

続いて、日本テクノ(株)水戸営業所長 石塚 様から、まず、会社概要と「電気をつくる、まもる、賢くつかう」という3つの事業を通じて、電力インフラを支え、電力需給の安定と持続可能な社会の実現に貢献していく事業を展開しているとの自己紹介がありました。

計量法により電気子メーターは有効期限があり、定期的に交換しないとテナントに迷惑をかけることになるが、自動検針システム「ECO-TENANT」は、子メーターの定期的な交換費用で導入できることが説明された。具体的には、このシステム導入により、自動検針で読み間違い等のヒューマンエラーがなくなることで、電力会社への電気料金は同社が支払いを代行するので、ビルオーナーが毎月の電気料金を電力会社に一括支払いをする必要がなく、毎月の電気料金運転資金の確保が不要となること、同社がテナントへの請求回収業務を行うので業務負担が軽減されることが説明された。

慢性的な人手不足の中、業務の効率化・生産性の向上を図っていくには、DX化に対する「難しい」「必要ない」との思い込みから脱却し、変化を恐れず、意欲的・定期的に情報収集し、ビルメンテナンス業界の現場特性を踏まえた統合型システムの導入など、DX化にチャレンジしていく積極的な取り組みを進めていくことが重要と思われます。

<技術者研修会の概要>

- 1 日時 9月19日(木) 13:30～16:00
- 2 場所 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館4階 中研修室
- 3 出席者 14社25名
- 4 研修

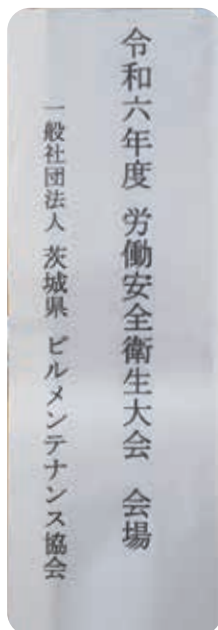
- (1) ビルメンテナンスのDX化ポイント
～現場・営業・経営をつなぐ業界特化型システム「プロワン」～
講師：(株)ミツモア
マーケティング責任者／マーケティング本部長 高井 洋輔 様
- (2) テナントビルの電気料金自動検針システム「ECO-TENANT」について
講師：日本テクノ(株) 水戸営業所 所長 石塚 重昭 様
茨城支店 支店長 柏 純 様



修了書の交付

5 修了書の交付

令和6年度 労働安全衛生大会 開催



10月10日(木)、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館1階のコミュニティホールを会場に29社53名(非会員を含む)のご参加をいただき、令和6年度労働安全衛生大会を開催しました。

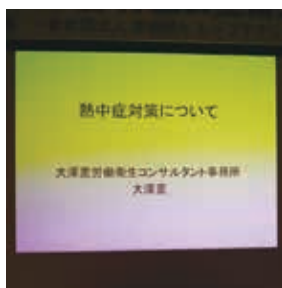
大会は、沢田副委員長の司会により、川上副会長の「開会のことば」で始まり、主催者を代表して塚越会長があいさつ、次にご来賓の茨城労働局労働基準部長 江口 勇次 様から、茨城県下の労働災害、特にビルメンテナンス業では60歳以上の高齢者の割合が全業種3割に対し、6割となっていること、また、化学物質による災害の多い業種は、多い順に、食料品製造業、化学工業、清掃業の順となっており、洗剤・洗浄剤の使用によるものが特に多く、化学物質管理者の選任、不浸透性の保護具等の使用等を含め化学物質対策に対応すること、労働者死傷病報告の報告事項改正及び電子申請の義務化、茨城県最低賃金の改正などのご説明をいただきました。

続いて、講演に移り、「熱中症対策について」という演題で、労働衛生コンサルタント 大澤 薫 様からご講話をいただきました。

大澤様からは、暑さ指数(WBGT)とは何か、



講師：大澤 薫 様



日常生活、運動、職場(安全衛生)の場面における暑さ指数の数値に対する注意事項や対応指針、熱中症とは何か、熱中症の症状と分類、応急処置の方法、建設現場など危ない現場状況と対策、熱中症予防法として前日、仕事前、仕事中のチェック事項の確認や暑熱順化、休憩時間、予防対策グッズについて詳しく説明していただきました。さらに、医学的な見地から早期発見方法である「皮膚をつまみあげての「脱水状態」のチェック」、「爪押しで「隠れ脱水症」チェック」、「尿の色で「脱水状態」のセルフチェック」とともに、予防対策として、涼しい車内での休憩や「足水」での体温降下、目立つ場所へのドリンクサーバーの設置による水分補給の励行など、具体的な予防方法について分かり易く解説していただきました。本講演は、来年の猛暑に向けた熱中症対策に大変参考となるものでした。

続いて、事例発表に移り、「労働安全衛生の基本及び職場別労災事例」というテーマで、東京美化㈱執行役員茨城支店長 佐々木 匡史 様から発表していただきました。まず、労働安全衛生法の基本的なポイントとして、事業者や労働者の責任、管理体制、労働災害防止の具体的措置や基準、健康診断などを解説いただくとともに、衛生管理者、安全管理者、作業主任者、クレーンやゴンドラ、建設機械の運転免許など労働安全衛生法に基づく資格・免許について解説していただきました。続いて、熱中症や化学物質中毒の職場別の労災事例の原因と対策、自社で発生した具体的な労災事例について、その原因と採るべきだった対策をお話ししていただきました。

講演及び事例発表とも、今後の労働安全衛生の推進や業務の運営に大いに参考になるものでした。

大会の締めくくりは、満場一致で採択された大会宣言を、佐々木委員長の先導により出席者全員で唱和し、労働安全衛生対策に取り組む決意を新たにしました。

最後に、石田副会長の「閉会のことば」で、大会を閉会としました。



佐々木労働安全衛生委員長

大会宣言

「私たちは、笑顔ではたらける快適で愛される健康職場を目指し、労働災害ゼロを達成するため、改善に取り組むことを、ここに宣言いたします



大会宣言の唱和

の誓いを宣言し、組合員の結束を強めた。



■県ビルメンテ協会が安全大会 県ビルメンテナン協会（塚越俊祐会長）は、水戸市内で労働安全衛生大会を行い、会員やその従業員ら52人が作業中の労働災害防止を誓った。来賓の茨城労働局長が事故防止を呼びかけた。塚越会長は「エッセンシャルワーカーとして業界の未来を担う若者が、誇りを持って従事できるような業界に発展させていかなければならない」とあいさつした。写真：大会では、大澤労働衛生コンサルタント事務所の大澤さんが、「熱中症対策について」のテーマで講話。労働安全衛生委員会の佐々木匡史委員長が「安全



会長あいさつ

(一社) 茨城県ビルメンテナンス協会
会 長 塚越 俊祐

皆様、こんにちは、ご紹介をいただきました塚越でございます。

本日は、大変お忙しいところ、「令和6年度労働安全衛生大会」にご出席をいただきまして、心から感謝申し上げます。

また、本日は、ご来賓としまして、ご多忙の中、茨城労働局労働基準部 江口 勇次部長様にご臨席を賜り、重ねて、深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、先般、茨城県最低賃金が発表され、今年も52円と大幅な引き上げが行われ、1,005円と初めて時給が1,000円を超え、10月1日から適用されることとなりました。人手不足や物価上昇に加え、10月1日から短時間労働者の社会保険適用が従業員数51人以上の勤め先に拡大されるなど、価格転嫁を受け入れてもらにくい我々業界にとりまして、大変厳しい経営環境となっております。

こうした厳しい環境ではありますが、エッセンシャルワーカーとして、業界の未来を担う若者が誇りを持って従事できるよう、労働生産性の向上や、価格転嫁等適正価格の実現に努め、適正な利潤を確保することができる業界へと発展させていかなければならないと考えております。

また、我々業界は、他業種に比べ、高齢者が従事する割合が極めて高く、特に高齢従事者の安全確保と健康の維持を図る労働安全衛生は、各企業が最優先で取り組むべき大変重要な課題でございます。

ようやく、さわやかな秋の季節が巡ってまいりましたが、今年の夏は、昨年と同様、平均気温の基準値を大きく上回る危険な暑さとなり、さらに9月に入っても真夏日が続くなど、全国

各地で9月20日過ぎまで熱中症警戒アラートが発出されていたところです。

地球温暖化等もあり、年々、暑さが厳しくなっていくのではないかと、危惧しているところ です。

こうしたことから、今回の講演では、中心的な担い手である高年齢従事者の健康を維持していくために、労働安全衛生対策として、「熱中症」にどう対処していけばいいのかをテーマに取り上げた次第でございます。

労働衛生コンサルタントの大澤先生を講師にお迎えし、暑さ指数、熱中症の原因と症状、早期発見や予防方法などについて、ご講演をいただきます。

大澤先生は、歯科医師で龍ヶ崎市において歯科医院を経営されており、医学的な見地から、熱中症にどう対応していけばいいのか、詳しくご説明していただくこととしております。

今後、危険な暑さが当たり前となる環境の中で、労務担当の皆様方には、講演を参考に、従事者が安全・安心に働くことができるよう、職場環境の整備に、一層のご尽力をお願い申し上げます。

講演に続きまして、会員企業による「事例発表」では、東京美化様から、「労働安全衛生の基本及び職場別労災事例」をテーマに労働安全衛生活動の具体的な取り組み内容をお話ししていただくこととしております。

ご出席の皆様方におかれましては、大澤先生のご講演、そして事例発表の具体的な取り組みから、参考となるヒントを数多く汲み取っていただき、今後の業務運営に活用されますことを期待しております。

結びに、この大会が、皆様方の労働安全衛生活動の更なる向上の契機となりますこと、そして、ご出席の会員企業のますますのご発展とご参会の皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は、最後まで、よろしくお願いいたします。



ご来賓あいさつ

茨城労働局 労働基準部
部 長 江口 勇次 様

茨城労働局労働基準部長の江口でございます。

本日は、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の令和6年度労働安全衛生大会が、このように盛大に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、塚越会長をはじめ、各会員の皆様方におかれましては、日頃から労働災害防止、労働者の健康確保について、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

本日、労働局からも資料をお配りさせていただいておりますが、細かい説明はいたしませんので、後ほどご覧いただければと思います。

【茨城県下の労働災害統計】

令和5年の茨城県内の労働災害については、新型コロナウイルス感染症によるものを除いて、休業4日以上死傷者数が3,255人と対前年比で220人の増加となっております。このうち23人の尊い命が失われており、令和4年と比べて7人少なくなっております。

令和6年につきましては、本日までに、19人の尊い命が失われており、残念ながら昨年と比べ1人多い状況となっております。

次に、ビルメンテナンス業においては、ここ5年以上、死亡災害ゼロの状態が続いております。一方で、休業4日以上死傷者数は、令和5年47人と、前年の40人と比べ、7人増加しております。

なお、令和5年の災害を年齢別にみると、60歳以上の高齢者の割合は、全業種において3割であるのに対して、ビルメンテナンス業においては6割となっており、ビルメンテナンス業における被災者の高齢化が進んでいることがわかるかと思います。茨城労働局・各労働基準監督署におきましては、エイジフレンドリーガ

イドラインのさらなる周知指導の強化を図っております。

ビルメンテナンス業の労働災害について、どのような事故が多いかということで、「事故の型」別で見えますと、「転倒災害」が一番多く、続いて「墜落・転落」、「動作の反動・無理な動作」（腰痛など）となっております。これらの行動災害には体操などが有効とされているところ、茨城労働局HPに、3分半でできる健康体操の動画が掲載されておりますので、ぜひご活用ください。

また、近年、化学物質による災害が多い業種は、多い順に、食料品製造業、化学工業、清掃業となっています。労働災害の起因物としては、洗剤・洗浄剤によるものが特に多くなっておりますので、化学物質管理者の選任、不浸透性の保護具の使用等を含め、化学物質対策についても対応いただきますようお願いいたします。

お配りしているリーフレットについて、簡単に触れさせていただきます。

【労働者死傷病報告の報告事項改正および電子申請の義務化】

令和7年1月1日から労働者死傷病報告について、電子申請が義務化されることとなっております。最初は慣れないこともあるかと思いますが、ご利用にあたっては、厚生労働省ポータルサイトにより、各労働基準監督署に行う届出の作成を支援しておりますので、ご活用いただき、電子申請にご協力をお願いいたします。

【茨城県最低賃金の改正】

茨城県最低賃金につきまして、本年10月1日から52円アップし、時間給1,005円と、初めて1,000円を上回ったところです。賃金引上げに関しましては、業務改善助成金などの支援もありますので、活用いただき、最低賃金額以上の賃金支払いをよろしくお願いいたします。

結びになりますが、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会並びに会員事業場の益々のご発展と、本日ご参加の皆様のご健勝とご多幸、さらには無事故・無災害を心から祈念申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。

ポリッシャー実技講習会 開催



令和6年度の新規事業として、10月5日（土）、10月19日（土）の2回、ポリッシャー操作経験の未経験又は未熟な方を対象に、ポリッシャー実技講習会を開催しました。講習会会場は、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館5階の協会会議室及び5階共用フロアを使い、1回目6社7名、2回目5社6名の受講者にご参加いただきました。

清掃のプロである清掃作業監督者となるためには、1級ビルクリーニング技能士の国家資格取得が要件の一つであり、この国家資格取得には、ポリッシャーの操作技術の習得が必須です。しかし、ポリッシャーは定期清掃等でしか使われておらず、社内で、ポリッシャー操作を学ぶOJTの機会もなかなか作れない状況にあることから、1級ビルクリーニング技能士の国家資格取得で必須となる、ポリッシャーの操作技術の基本を習得していただくため、本講習会を開催したところです。

講習会では、できるだけ多くポリッシャーに触れていただき、慣れてもらうため、2班に分け、少人数で受講してもらいました。受講者のほとんどの方

がポリッシャー操作未経験者で、実習の開始段階では、協会講師の模範演技に倣い、緊張して腕に目一杯の力を入れてこわごわと操作していました。交替で休憩となると、どう扱ったらうまく操作できるのかと、他の受講者の操作状況を真剣に観察するとともに、緊張した筋肉の張りをほぐすため、腕を振るなどしていました。午後の部の実習時間になると、少しずつ操作にも慣れ、コード裁きにも挑戦できるほどに上達していました。

指導した協会講師からは、目を見張る進歩がみられ、実習の最終段階では、当初予定をしていなかった操作技術にもチャレンジしていただいたとのことでした。

受講者の皆様、丸一日の実習、大変お疲れさまでした。この講習を契機に、是非、1級ビルクリーニング技能士の資格取得に挑戦し、更なるキャリアアップを目指してください。

来年も、講習内容をさらに充実させて、本講習会を開催したいと考えております。多くの方のご参加をお待ちしております。



＜ポリッシャー実技講習会の概要＞

- 1 日 時 1回目：10月5日（土）9：30～16：00
2回目：10月19日（土）9：30～16：00
- 2 会 場 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館5階 協会会議室・共用フロア
- 3 出席者 1回目：6社7名、2回目：5社6名
- 4 講 習
 - (1) ポリッシャーの使い方のビデオ視聴
 - (2) 講義：「ポリッシャーの機能と構造、使い方」
講師：谷田部協会講師
 - (3) 実技講習 講師：塩谷、谷田部協会講師
アドバイザー：横井協会講師（10/5のみ）
- 5 修了書の交付



ポリッシャー実技講習会受講感想

茨城グローブシップ株式会社 谷口 大士

本講習会では、ポリッシャーの実際の操作方法や作業時の留意点等実技を通した講義が行われましたが、講師の方々から、様々な視点から事細かな説明があり、非常に参考になることも多く、たった1日間と短期間の講習でしたが、有意義な時間を経験させて頂きましたこと、深く感謝申し上げます。

また、実際の操作実技では、ハンドルを押し下げたり持ち上げたりすることで左右に移動する仕組みや安全に効率よく作業するために必ずコードを持つといった基本動作を確認しながらの作業でしたが、個人的には、最初の中々スムーズな対応が出来ず四苦八苦しておりましたが、徐々に慣れてきて、最終的には、かなり上達出来たのではなかろうかと感じております。

本講習会を通じて、ポリッシャーについて学んだことを、今度は社内において現場の常駐経験が浅い同僚や資格を持っていない者達に対し幅広く情宣して行くとともに、併せて本講習会の受講を呼びかけて行きたいと考えております。

ポリッシャー実技講習会での習得事項及び感想

高橋興業株式会社 羽成 典子

先ず初めに、ポリッシャー実技講習会の開催にあたり、建物衛生委員会の皆様・講師の方々に、このような機会を頂き、ありがとうございました。

我々、事業所を管理する立場でありながら、なかなかポリッシャーに触れる機会がありません。

協力会社さんの作業の仕方を見る事が多い反面、自身で作業するという機会がほとんどなく、もどかしい思いもしておりました。

ポリッシャーの機能と構造・使い方をご指導頂き、最初は慣れないポリッシャーを操るのは難しかったですが、徐々に体に馴染んできました。

電源コードは絶対にまたがない等、事故につながりかねない動作をしない事を意識し、一つ一つの行動を無駄なくコンパクトに、人に見られている事も意識しながらこうどうすることも大事だと、改めて感じました。

今後は、なるべくポリッシャーに触れる機会を多くとり、ビルクリーニング技能士の資格取得に向けて、邁進していこうと思います。

また、このような機会がありましたら是非参加させて頂きます。



令和6年度 会員相互のコミュニケーション促進事業 (レクリエーション)

第3回会員対抗ボウリング大会 開催



10月24日(木)、第3回目となる会員対抗ボウリング大会を「大学ボウル水戸店」で開催しました。

大会は、1チーム3名、2ゲームの総得点数を競う会員対抗とし、7社9チーム、27名にご参加いただきました。うち女性参加者は5名、女性には、ハンデとして2ゲームの合計点に30点を加算しました。

塚越会長のあいさつ、ルール説明、練習ボールによるウォーミングアップ、続いて、塚越会長、石田副会長の始球式後、各レーンで競技が開始されました。

あちらこちらでストライクやスピアへの歓声やハイタッチを交わすなど、皆さん、笑顔で、終始、

和やかにゲームを楽しんでいました。

ゲーム終了後、1階のパーティールームに移動していただき、表彰式を行いました。塚越会長からブービー賞、第三位、準優勝、優勝と順位賞の豪華賞品が代表者に手渡され、惜しくも順位賞に該当しなかったチームには参加賞が授与されました。

最多得点299点を出した(株)日立ビルシステムの松田 正幸さんには、協会長賞が授与されました。

優勝した「チームミックス」(株)アメニティ・ジャパンと(株)日立ビルシステムの混合チーム)は、協会長賞を獲得した(株)日立ビルシステムの松田さん、(株)アメニティ・ジャパンの畑岡さん、我妻さんが手堅く点数をまとめ、準優勝となった前年度優勝の「ともちゃんズ」(常陸興業(株))を抑え、優勝の栄誉を獲得しました。

最多得点の松田さんは、299点は初めてのことでおっしゃっていましたが、単独での参加で腕には自信があったようです。

来年は第4回大会を土浦で開催する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



優勝：チームミックス
左から(株)アメニティ・ジャパン 畑岡様、我妻様
(株)日立ビルシステム 松田様



準優勝：ともちゃんズ



第3位：サンアメ



ブービー賞：はまぎく3人衆

<第3回会員対抗ボウリング大会成績>

○優勝 (778点) チームミックス (畑岡 秀和、我妻 一、松田 正幸)

○準優勝 (760点) ともちゃんズ (増田 智則、川井 努、植田 由美子)

○第3位 (681点) サンアメ (柏 一男、石田 篤史、植木 茂美)

○ブービー (585点) はまぎく3人衆 (稲田 雄一、野口 学、佐藤 こず恵)

○協会長賞 (ベストスコア賞) 松田 正幸

—(株)アメニティ・ジャパン
(株)日立ビルシステム

—常陸興業(株)

—(株)サンアメニティ

—(株)塚越産業

—(株)日立ビルシステム

第45回 いばらきBMゴルフ大会 開催



会員相互のコミュニケーション促進事業「第45回 いばらきBMゴルフ大会」を、ゴルフ5カントリーかさまフォレストで開催しました。

この日は、澄み渡る青空、風も穏やかで、暑くもなく寒くもない言い訳のできない絶好のゴルフ日和、アウトスタート4組、インスタート3組、初参加者1名を含め総勢28名の方々にご参加いただきました。

スコアはさておき、参加者の皆様には、最高の気分プレーを楽しんでいただけたものと思います。

次回も多数のご参加をお待ちしております。

期 日：11月7日（木）

会 場：ゴルフ5カントリー かさまフォレスト
笠間市福原301

参加者：7組28名

結 果：優 勝 宮川 克彦
(新生ビルテクノ(株))

準優勝 今井 喜由
(日本設備管理(株))

3 位 伊勢 一則
(株クリーン・ジャックシステム)



第45回 いばらきBMゴルフ大会に 参加して

新生ビルテクノ株式会社 北関東支店
宮川 克彦

令和6年11月7日（木）「第45回 いばらきBMゴルフ大会」が、GOLF5カントリーかさまフォレストで開催されました。

大会当日は、稀に見る爽やかな秋晴れで、風も無く、ちょっと汗ばむ位の、絶好のゴルフ日和で、ゴルフファーにとっては最高のコンディションの中でプレーヤー冥利尽きる条件でラウンドする事ができました。また、開催コースのかさまフォレストは、今年の天候不順にもかかわらず、グリーンコンディション等も最高の状態でした。季節柄、紅葉等もきれいなはずでしたが、それを満喫するだけの心の余裕がございませんでした。

さて、本題ラウンドですが、まずは当日のメンバー変更で、最終組で気楽に出来るはずでしたが、1組目となり、塚越会長、川又社長、登坂様、自分と豪華メンバーでのラウンドで俄かに緊張感が湧いてきて、優勝狙ったぐらいの思いが、どこかに飛んでしまいました。

平常心を失った状況でのスタートになりましたが、塚越会長、川又社長、登坂様皆様の明るく笑いあふれる雰囲気の中で楽しくラウンドさせていただきました。

ゴルフの内容としては、ドライバーの不調、3パットの嵐、あまり納得できる内容ではございませんでしたが、所々でギリギリ踏ん張る事ができたかなあ～と思う次第です。

優勝できたのは、メンバーの皆様、それとキャディーさんの適切な指示のおかげであると只々感謝しています。

最後になりますが、事務局の皆様、並びに運営に携わられた皆様に心からの感謝申し上げます。

また、茨城県ビルメンテナンス協会並びに会員各社の益々の発展を祈念申し上げ、御礼のご挨拶いたします。



優勝：新生ビルテクノ(株) 宮川 氏

(公社) 全国ビルメンテナンス協会 「2024年度表彰式(役員表彰及び事業協力者感謝の部)」

7月24日(水)、ホテルメトロポリタン仙台において、(公社) 全国ビルメンテナンス協会の2024年定時総会及び関係行事が盛大に開催されました。

定時総会には、当協会から塚越会長、代議員の川上副会長・石田副会長が出席しました。

定時総会終了後には、「2024年度表彰式」が執り行われ、長年にわたり協会役員として協会運営に貢献した功績を称え、役員表彰の部で当協会会長の塚越 俊祐氏が表彰されました。また、事業協力者感謝の部で、長年にわたり協会講師として人材育成に貢献した功績を称え、当協会副会長の石田 篤史氏、当協会理事の水島 剛氏、協会講師の鹿嶋 史子氏に感謝状が授与されました。

受賞されました皆様には、心からお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。



川上副会長 水島理事 塚越会長 石田副会長 (写真提供：川上副会長)

令和7年 新春賀詞交歓会 開催のお知らせ

期 日 令和7年1月16日(木)
時 間 午前11時開会 (受付は午前10時より)
会 場 ホテル レイクビュー水戸 2F「紫峰の間」
水戸市宮町1-6-1
TEL 029-224-2727
会 費 1名様 10,000円

◆ 会員皆様の多数のご参加をお待ちしております ◆

茨城労働局からのお知らせ

最低賃金が、ことしも変わりました。

茨城県 最低賃金
令和6年
10月1日から

1,005 円

時間額

52 円
UP!!

雇う上でも、働く上でも、最低限のルール。
使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金。

最低賃金に関する特設サイト
<https://saiteichingin.mhlw.go.jp/>
WEBで確認!
最低賃金制度



最低賃金に関するお問い合わせは
茨城労働局または最寄りの労働基準監督署へ
茨城労働局ホームページアドレス
<https://jsite.mhlw.go.jp/ibaraki-roudoukyoku/>

理事会だより

第7回常任理事会

日時 9月11日(水) 15:00～16:45
場所 協会 会議室
出席者 塚越会長、川上副会長、増田・大野・佐々木・水島各常任理事
事務局(後藤専務理事、田山)
議事 (1)令和6年度事業の進捗状況について
(2)今後の事業計画について
(3)協会創立50周年記念事業について
(4)その他



第8回常任理事会

日時 10月10日(木) 10:25～10:55
場所 協会 会議室
出席者 塚越会長、川上・石田副会長、根本・大野・佐々木・水島各常任理事
事務局(後藤専務理事、田山)
議事 (1)労働安全衛生大会の開催について(最終確認)
(2)忘年会の開催について
(3)新春賀詞交歓会の開催について
(4)会員相互のコミュニケーション促進事業について
(5)その他



各委員会だより

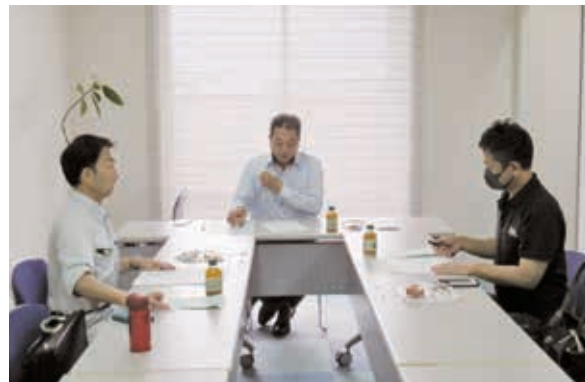
設備保全委員会

◇ 第2回委員会
日時 7月29日(月) 15:00～16:00
場所 協会 会議室
出席者 大野委員長、藤島副委員長、柏井・有坂・高田・菅原各委員
事務局(後藤専務理事、田山)
議事 (1)令和6年度 技術者研修会の開催について
(2)その他



労働安全衛生委員会

◇ 第2回委員会
日時 8月22日(木) 15:00～15:50
場所 協会 会議室
出席者 佐々木委員長、椎名・沢田副委員長
事務局(後藤専務理事)
議事 (1)令和6年度 労働安全衛生大会の開催について
(2)その他



建物衛生委員会

◇ 第4回委員会

日 時 10月17日(木) 14:55 ~ 16:00

場 所 協会 会議室

出席者 石田副会長、水島委員長、谷田部・高橋・横井・
山形・塩谷・篠崎・鹿島各委員
事務局(後藤専務理事)

議 事 (1)ビルクレーニング技能検定(1級)受検準備
講習会の運営要項について
(2)ポリッシャー実技講習会の実施状況について
(3)その他



広報委員会

◇ 第5回委員会

日 時 10月29日(火) 16:00 ~ 16:30

場 所 協会 会議室

出席者 根本委員長、館副委員長、田邊・大部委員
事務局(後藤専務理事、田山)

議 事 (1)茨協ニュース(第120号)の発行について
(2)その他



◇ 編集会議

日 時 11月19日(火) 14:55 ~ 16:00

場 所 協会 会議室

出席者 根本委員長、館副委員長、海老根・田邊・
大部各委員
事務局(田山)

議 事 (1)茨協ニュース(第120号)の編集作業について
(2)その他



＼ 私の楽しみ ／ はなしの リレー

家づくりのポイント

株式会社アメニティ・ジャパン

遠藤 勝利

昨年、結婚をさせて頂き家庭をもった私ですが、今後の計画としてマイホームを建てたいという思いがあり、現在、住宅展示場などを何件か周った中で、営業マンから様々な情報を得ることが出来ましたので、今後マイホームを検討している方に少しでも参考になれば幸いです。

家づくりは、人生の大きなプロジェクトの一つです。そのため、慎重な計画と準備が必要です。以下に、家づくりにおける重要なポイントをまとめました。

まず、第一に、理想の住まい像を明確にすることです。家族全員が快適に過ごせる空間を考え、どのようなライフスタイルを実現したいのかを具体的にイメージすることが大切です。例えば、子供が多い家庭では広いリビングや庭が必要かもしれませんし、趣味の時間を楽しむための専用スペースが欲しい場合もあるでしょう。

次に、予算の設定と資金計画を立てることが不可欠です。家づくりには多くの費用がかかるため、無理のない範囲で資金を用意することが重要です。住宅ローンや補助金制度も活用し、自分たちの経済状況に合った計画を立てることが求められます。

設計段階では、専門家の意見を取り入れることがポイントです。建築家や設計士とよく相談し、実際の設計に反映させることで、理想の家が現実のものとなります。また、建材や設備の選定にもこだわり、安全性や耐久性を考慮した上で、長く快適に住むことができる家づくりを目指しましょう。

さらに、施工の過程では進捗状況をしっかりと把握し、必要な場合には適宜修正を加えるこ

とが大切です。定期的に現場を訪れ、工事の進み具合を確認することで、思い描いた通りの家が完成するよう努めましょう。

最後に完成後のメンテナンスはビルメンテナンス業界にも通ずることですが忘れずに。家は建てて終わりではなく、長く住み続けるためには定期的な点検と修理が必要です。特に、水回りや外壁などは定期的にチェックし、問題があれば早めに対処することが求められます。



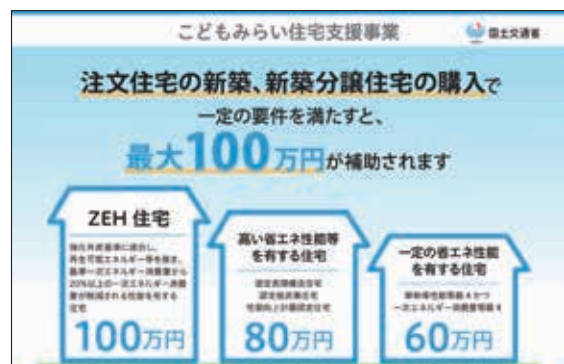
家づくりは多くの時間と労力を要しますが、家族の夢を形にする素晴らしい機会です。今後家を建てる方はしっかりと計画を立て、心地よい住まいを実現しましょう。

○家を建てる時に使える制度

新しい家を建てる際、大きな費用が必要となります。

国や自治体から提供される補助金、助成金、税制優遇などの制度を活用することで、この負担を軽減することが可能です。新築住宅を建てる方を支援する制度は大きく分けて以下3つに分かれております。

- ・国による補助金、助成金、給付金
- ・税制優遇（減税）制度
- ・自治体による補助金・助成金



今回は、高橋興業株式会社 登坂 大希 様にお願いいたします。



リビングのモデル

編集後記

能登半島大地震、パリオリンピック・パラリンピック開催、MLB大谷選手の「50・50」、衆議院選挙与党過半数割れ、アメリカ大統領選挙トランプ氏圧勝等々、記憶にも記録にも残るニュースが例年以上に多く感じられた2024年も、残すところ1ヶ月。

師走を迎え、年の瀬も押し迫ってまいりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

去る10月に安全運転管理者講習会、運転免許更新時講習会を受講してまいりましたが、既に皆様もご承知の通り、飲酒運転に関する罰則規定について個人はもとより会社に対しても強化されており、運転前後の酒気帯びの確認が義務付けられる等の法整備も進んでおりますので、細心の注意が必要です。これから年末年始へかけて、忘年会や新年会等の会合で、お酒を飲む機会が増えると思われますが、飲酒運転は絶対にしませんよう（させませんよう）皆様のご協力宜しくお願い致します。

また、各々の講習会の中で「スマホ等ながら運転」について注意喚起・警鐘を促す場面・時間が多く感じられました。令和元年の法改正にて罰則規定が強化されて以降、検挙件数は大幅に減少しておりましたが、近年は増加基調に転じており、これを起因とする死亡事故も増えているとのことです。「スマホ等の画面をちらっと見るくらい大丈夫」と思うかもしれませんが、その一瞬の油断が悲惨な交通事故を招いています。「スマホ等ながら運転」をただけで違反点数3点、反則金18,000円。「ながら運転」をして事故を起こした場合違反点数6点一発免許停止となりますので皆様ご注意ください。

ところで、本誌でもご案内の通り、来年1月に茨城県ビルメンテナンス協会主催の新春賀詞交歓会が開催されます。会員の皆様方との情報交換等有意義な時間になると思いますので、振るってご参加ください。我々広報委員会のメンバーも取材・写真撮影等でお伺いする予定ですので、当日会場でお待ちしております。

これからが冬本番。ご高齢な方が多く就業する当業界においては、安全管理はもとより、健康増進・体調管理等きめ細やかなサポートが更に必要になってくる時期かと存じます。会員の皆様をはじめとして、各社スタッフの皆様が健康で元気にご活躍されますことを、切に願っております。

今後も引き続き、広報委員会の活動にご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。

皆様、良い年をお迎えください。

茨城グローブシップ株式会社 大部 浩





今号の編集者

委員長	根本妃美子 (株) 桃恒産
副委員長	舘 由紀夫 (新生ビルテクノ(株) 北関東支店)
委員	海老根秀二 (関東ビルサービス(株))
同	田邊 弘之 (J R 水戸鉄道サービス(株))
同	大部 浩 (茨城グローブシップ(株))

責任者	会長	塚越 俊祐
編集責任者	広報委員長	根本妃美子
発行回数	年3回	
印刷所	有限会社クリエイティブサンエイ	

発行所
茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
TEL 029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail ibmal@ceres.ocn.ne.jp

<https://www.ibaraki-bma.or.jp/>

日本三名瀑のひとつに数えられる袋田の滝。
高さ120m、幅73m、四段の岩肌を流れ落ちることから"四度(よど)の滝"とも呼ばれる。

今年の紅葉は、例年より約1週間遅れて始まった。(11月中旬現在)